

1 実施日

令和6年12月2日（月）～令和7年1月31日（金）

2 回答数

生徒：335名 保護者：166名 教職員：28名

3 集計結果

(1) 生徒アンケート

- 5・4の割合が80%以上3項目、70%以上11項目、60%以上8項目と肯定的な割合の回答が高かった。50%以下の項目は3項目だった。
- 昨年との比較で高くなった項目としては、「授業内容や教え方を工夫している先生が多い。」(74.0% (+8.9%)) 「鹿南高の図書館の書籍は充実している。」(72.2% (+5.9%)) 「学習や部活動をする施設・設備が整っている。」(66.9% (+5.8%)) 昨年度に比較して変化は大きくなかった。
- 最も否定的な割合が高かった項目は「毎日1時間以上の家庭学習（学校での課外を含む）ができた。」(36.4% (-1.9%)) であった。昨年度よりも1時間以上の家庭学習を行った生徒が微増したが、肯定的な回答をした生徒は(39.1% (-3.7%)) であり、どちらとも言えないと回答した生徒が増加していた。
- 否定的な回答の増加率が最も高かったのは「いじめ問題解決に向けて取り組んでいる。」(22.4% (+9.5%)) であるが、この項目は、肯定的な回答が47.2% (-9.0%) であり、昨年度に比べて肯定的な回答が減り、否定的な回答がその分増加する結果となった。

(2) 保護者アンケート

- 本年度の保護者アンケートにおいては、5・4の割合が80%以上6項目、70%以上4項目、60%以上9項目と5・4の割合が昨年度よりも高い結果となった。
- 昨年度との比較で10%以上高くなった項目としては、「鹿南高は、教育方針をPTA総会・学年部会等で分かりやすく伝えている。」(74.7% (+15.0%)) 「鹿南高は、将来役立つ資格取得の指導を行っている。」(92.2% (+13.9%)) 「授業の教え方や説明は分かりやすいと聞いている。」(50.6% (+11.1%)) 「鹿南高は、生徒の興味関心・進路希望に添った選択科目が設定されている。」(80.1% (10.0%)) と、昨年度は学校行事に関する内容等新型コロナウイルス感染症の5類移行を反映していると思われる項目において増加傾向がみられたが、本年度は授業がより従来の形に戻ってきたことを反映する内容となった。
- 19項目では10%未満の増加だったが、2・1からの増加ではなく、「どちらとも言えない」と答えた率が低下しており、昨年度より明確な意見が増えた。
- 否定的な回答が20%を上回った項目は昨年度に引き続き「PTA活動に関心がある」(21.1% (-0.2%)) 「校則や社会のルールを理解し行動している」(30.1% (+7.6%)) の2項目だった。
- 否定的な回答が10%を上回った項目は9項目だった。

(3) 教職員アンケート

- 90%以上4項目、80%以上5項目、70%以上7項目、60%以上3項目であった。「教育方針をPTA総会・学年部会等で分かりやすく伝えている。」(92.9% (+9.1%)) 「学校の様子を伝えようと努めている」(92.9% (-7.1%)) 「各科の特性に応じた教育を積極的に行っている」(92.9% (-4.4%)) 「資格取得の指導を行っている」(92.9% (-1.6%)) が高かった。最も増加した項目は「教育方針をPTA総会・学年部会等で分かりやすく伝えている。」(92.9% (+9.1%)) であった。昨年令和5年度は令和4年度から肯定的な回答の比率が増加したが、本年度は5項目において増加、のこりは肯定的な回答の比率が減少増加した。
- 否定的な回答の割合が高かった項目  
「校則や社会のルールを理解し行動している」(57.1% (+13.9%)) 「掃除が行き届いており校内がきれいである」(53.6% (+29.2%)) 「学習や部活動をする施設・設備が整っている」(42.9% (+13.1%)) 「服装・遅刻等の指導が適切に行われている」(42.9% (+13.1%)) 「授業に意欲的に取り組んでいる」(29.7% (+4.7%)) などの項目において否定的な回答の割合が高く、また、増加率も高かった。